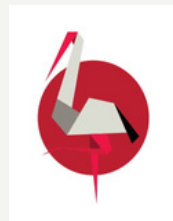


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年8月16日 / Vol. 014



8月8日(月)～8月14日(日)の支援活動

支援所・学生寮への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



食材支援参加者の方から、日本の皆様への感謝の気持ちとしてキャンバスを頂いた。
キャンバスには、ウクライナに咲く美しい花々と、平和の象徴であるコウノトリが描かれている。

ご支援総額

2022年8月10日までの寄付総額 98,253,231 円

寄付金使用総額 1279635.07 zł (3,711万円)

8/8(月)～8/14(日)の期間中の寄附金使用額

30467.29 zł(約88万円)

活動内容



支援所・学生寮への支援物資提供

クラクフ中央駅地下のカリタス支援所とオポルスカ支援所へ、週に2回支援物資を提供。

おむつやシャンプーなどの消耗品の他、支援所で配布のしやすいインスタント食品やサンドイッチ用食材を購入。

ウクライナ人避難民46名が滞在する学生寮と、オポルスカ支援所へは、週に1度フルーツの配達を実施。主にリンゴやオレンジ、キウイを配達している。



レストランプロジェクト

4店舗と協力し1週間で約990食を提供。

修道院等、キッチンの無い場所で避難している方や、病気の家族を抱える方等、様々な状況におかれている避難民の方にとって、店内飲食かテイクアウトかの選択肢があるのはとても有難い、とコメントを頂いた。



食材支援（毎週金曜日）

27家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人あたり50złの予算を設け、合計で 3164.08 zł（約92,000円）分の食材を購入。

全員で買い物に参加する家族の姿も多く、小さな子どもが荷物持ちを手伝う姿も見られた。

家族の中に持病があり、食事制限をしなければならない方もおり、自分で食べるものを選ぶ食材支援に大きく助けられています、と話す参加者の姿もあった。



現地の動向



ポーランドでは連休があり、子どもたちの夏休みが中盤に差し掛かったこともあり、市内中心部では各地でイベントが催されている。

イベントは毎年開催されているが、プログラムの中に「ウクライナDAY」が設けられるなど、例年とは違った様子が見られている。

また、ポーランドではインフレの影響もあり、全国各地で賃料が大幅に値上がりしている。

インフレと賃料値上がりのあおりをうけ、個人から無償で部屋の提供を受けていた避難民が引っ越しを余儀なくされるケースも発生している。

避難民の受け入れ先を紹介している団体によると、新規の無償での滞在受け入れ先は、郊外でしか見つける事が出来ないという。

